

議 事 要 旨

【日 時】 令和5年2月9日（木）18:26 ～ 19:23

【場 所】 TV 会議(佐世保市中央保健福祉センター5階 危機管理室)

【出席者】 委員7名出席(全委員出席)

(事務局等) 辻保健福祉部長、井上保健所長、兼次長、八木課長、向坂課長補佐、
久地浦主査

(北松中央病院) 東山理事長、田中事務部長、前田看護部長、富本経理課長

◆評価委員会各委員の主な意見・質疑

■議題1 北松中央病院第7期中期計画の策定に係る意見について

【意見】

北松中央病院第7期中期計画の原案を適切と認めた上で特に意見なし。

【質疑】

○医療従事者の確保（修学支援について）

修学・育成支援の充実において、対象となる医療従事者は何か。
また、どのような広報をどこに向けて実施しているのか。（安部委員）

⇒医師、看護師、薬剤師を対象としている。現在1名の薬剤師が奨学資金を活用し薬学部に通っている。
広報は、看護学校、九州内の薬学部、医学部に関しては予備校、高校にも広報している。
方法は、ホームページへの掲載や、案内を出している。（北松中央病院 東山理事長）

○医療従事者の確保（医師の確保について）

医師が、令和3年度実績から令和7年度目標では2名増加し、11名となっているが、修学支援を要因とした増加か、またはその他の取り組みによる増加か。（横山委員）

⇒10年経過して令和5年6月に奨学資金を活用した医師が1名当院に来る予定で、その2年後にもう1人来る予定となっている。その他、国家試験を受け自己採点で一応合格としている方で奨学資金を活用している方が2名おり、ここ3年から4年で4名の医師が当院に来ると考えている。（北松中央病院 東山理事長）

○介護保険サービス（目標値の根拠について）

「居宅介護支援事業におけるサービス利用件数」の目標値が令和3年度実績から令和7年度目標値で減少しているがなぜか。（橋本委員長）

⇒ケアマネは1名しかいなかったが、最近1名新たに採用となり2名体制となったことで、現在の目標値より伸びる可能性があると思われるが、一方で、周辺地域に訪問看護ステーションができはじめていることから、2名体制になったからと言って、単純に件数が増加していくかはわからない状況である。（北松中央病院 東山理事長）

○患者満足度の向上（目標値の根拠について）

「看護師の離職率」の目標値で、令和3年度実績が8.4%となっているものの、令和7年度目標値が10.0%以下となっており数値的には上がっている（悪くなっている）が、何を根拠に設定しているのか。

（橋本委員長）

⇒看護師の離職率の全国平均値で設定している。

当院の看護師の平均年齢が以前より高くなっており（16年前40歳⇒現在46歳）、定年の年齢も61歳と伸ばしているが、定年を迎える職員も多く、令和3年度実績よりかは今後伸びるだろうと見込んでいる。（北松中央病院 東山理事長）

○費用の節減（実績と目標値の比較対象について）

ここでの令和3年度実績と令和7年度目標値の比較は適当ではないのではないか。

令和3年度実績では、コロナ補助金の影響もあり大きな医業収益があったとのことなので、他の年度と比較するなどが適当ではないか。（宮地委員）

⇒これまでの計画作成方法に従ったものであるが、比較する数値については、法人法も確認し、後日ご連絡する。（事務局）

以 上